



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立北光小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

本校では、より読書に親んでもらうために、「読書週間」を設けています。その中で、子どもたちによる図書委員会は「もっと図書室の利用者が増えてほしい。」「たくさん本を読んでほしい。」という願いをもって、3つの企画を立案・実行しました。

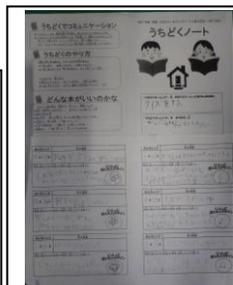
1つ目は、「全校読書チャレン木」です。模造紙に画用紙で作った木の幹を用意し、全校児童が読書週間に読んだ本の題名や感想を葉っぱのカードに書いて貼っていく活動です。

2つ目は、「おすすめ本」です。各学年の発達に合った本を選定し、その本の魅力をポスターにまとめ、各学年の教室前に掲示しました。

3つ目は、「ドラ本クエスト」です。借りる本の難易度や冊数に応じてスタンプが溜まり、そのスタンプが30個溜まると景品が貰えるという活動です。

これらの活動により、全校がいつも以上に図書室に足を通わせ、本に親しむ様子が見られました。

また、冬休みに向けた読書推進計画として、「家読（うちどく）」と「先生のおすすめ本」という取組があります。家読は、家族で同じ本を読み、読んだ本について感想を伝え合ったり、クイズを出し合ったりする活動です。本を介して家族がふれ合う機会を増やすことを目指しています。また、先生に薦められた本を読むことで、子どもたちの新たな世界を広げるきっかけ作りをしています。毎年、おすすめ本は大人気で、すぐに貸し出されています。



学習センターとしての機能

1年 国語『本はともだち』

図書室内にある様々な昔話を読んで、自分の好きな場面を木のカードに書き、模造紙に貼りました。また、友だちが書いた木のカードの近くに、自分の感想を果物のカードに書いて貼っていきしました。同じ本を読んで、お気に入りの場面が同じだったり、違ったりすることでさらに楽しく読むことができました。

情報センターとしての機能

3年 国語『食べ物のひみつを教えます』

様々な食べ方がある食べ物の説明を書くために、必要な情報を図書室の本から収集しました。

6年 国語『知ってほしいな この名言』

自分の心に響く名言を探すために、図書室に足を運びました。名言集で他の名言と比較しながらよりよいものを吟味することができました。